

子どもの生活を向上させるために

～「栃木の子どもの生活状況調査 報告書」をご活用ください～

- ◇ 栃木県総合教育センターでは、本県児童生徒の生活の様子や保護者の働きかけ等を把握し、望ましい指導の在り方を探るために、「生活状況調査」を実施し、調査結果に分析と考察を加え「報告書」としてまとめました。
- ◇ 本リーフレットは、「報告書」の概要を紹介するものです。報告書とあわせて、ご活用ください。

「I 調査研究の概要」

- ◇ 調査実施日：平成20年9月
 ◇ 調査方法：質問紙法
 ◇ 調査対象

(人数は有効回答数)				
学校種	実施学年	学校数	児童・生徒数	保護者数
小学校	小2・小5	27校	1,655人	1,613人
中学校	中2	23校	664人	636人
高等学校	高2	20校	768人	687人
回収率		約98%	約93%	

P 1 「報告書の構成・概要」

P 2・3 「報告書のポイント」
(保護者向け資料としてもご活用ください)

P 4 「報告書の実際と活用」

栃木の子どもの生活状況調査

報告書

平成22年3月
栃木県総合教育センター

「II 提言」

- ◇ 各学年に共通する望ましい指導の在り方を、大人に向けた7つの提言としてまとめました。

→ リーフレット P 2、報告書 P 9～

「IV 資料」

- ◇ 県内の子どもの家庭での生活や意識、保護者の関わり等のすべての調査結果を、前回調査(H15)と比較して、表とグラフにまとめました。

→調査用の質問紙をそのまま利用することができます。県と自校の結果を比較するなど、ぜひ指導にお役立てください。

→ 報告書 P 41～

～すぐに使えます！ 役立ちます！～

このような声が寄せられています。



客観的なデータがあるので、具体的で説得力のある講話ができます。
(中学校長)



家庭での指導の在り方について、保護者に伝えるのにとてもよい資料です。
(家庭教育オピニオンリーダー)

学校での指導に生かせる内容がたくさんあります。

保護者会で配布資料として、活用します。
(栃木県教育研究発表大会参加 教諭)



保護者に数字を示すことで、家庭教育の意義の大きさを客観的に説明できます。
(大学教授)



「栃木の子どもの生活状況調査 報告書」は、PDFファイルとしてダウンロードできます。

URL : <http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/cyosa/cyosakenkyu/seikatsu-h21/>

※栃木県総合教育センターホームページ>調査研究>H21研究調査事業一覧>栃木の子どもの生活状況調査(小・中・高)

提言

大人に向けた7つの提言

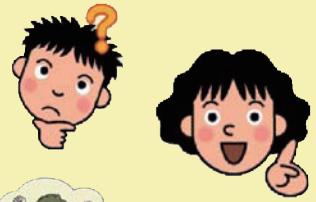
～大切なことはなに?～

調査結果の分析から導いた、各学年に共通する指導の在り方を、家庭、地域、学校のすべての大人が心がけたい7つの提言としてまとめました。

提言1 子どもが「納得」できる指導をしましょう。

◇ 教育は、本人が理解し納得して、自ら行動できるようにする営みです。

子どもへの指導



提言2 早寝、早起き、あいさつが、自分からできる子どもに育てましょう。

◇ 「あいさつ」は、大人のしつけと本人の自尊感情のバロメータです。

基本的な生活習慣



提言3 テレビ・ゲーム・携帯電話、ルールを決めて守れる子どもに育てましょう。

◇ 時間の管理は、大人になるための重要な課題です。

時間の管理



提言4 指導、賞賛、傾聴で、子どもの自尊感情を高めましょう。

◇ 指導、賞賛、傾聴されている子どもは、自尊感情が高く、大人を信頼しています。

自尊感情



提言5 子どもからの信頼を得て、子どもの不安を軽減しましょう。

◇ 問題行動は、大人への不信と自尊感情低下のサインです。

不安の軽減



提言6 子どもの学習について食卓で話題にしましょう。

◇ 学習することの意味や学校での出来事を、子どもと話題にすることが大切です。

家庭学習



提言7 将来を展望できる「大人」に育てましょう。

◇ 社会に出て自立する力の育成は、すべての教育活動を貫く教育の目的そのものです。

将来展望



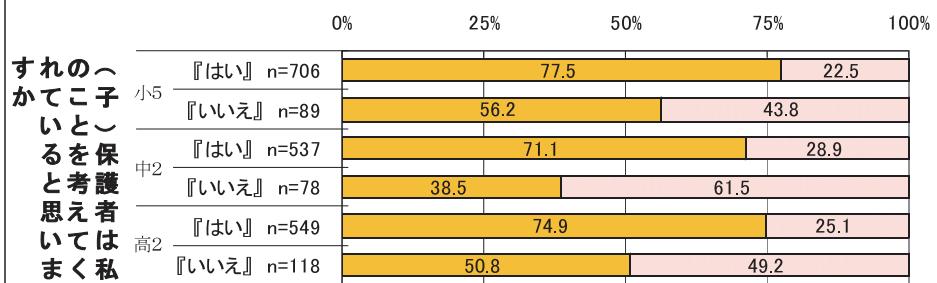
基本的な生活習慣が、いかに大切か、改めて考えさせられます。
(家庭教育オピニオンリーダー)

参考データ(例:提言4)

報告書には提言の根拠としてこのようなデータを示しました。

「保護者は私のことを考えてくれている」と回答した子どもほど、「自分には良いところがある」と回答する傾向があります。

(子)あなたには良いところがあると思いますか □『はい』□『いいえ』



学年ごとの特徴と具体策

発達に応じた具体策 ~どうすればいいの?~

調査結果の分析から導いた、子どもの発達に応じた大人の働きかけをまとめました。

重要項目ベスト10

子どもの生活を向上させるための重要な項目です。

☆ここでは上位5つの項目のみ記載しました。

	小学校下学年	小学校上學年	中 学 校	高等學校
1位	家庭学習をきちんとさせることが重要です。 (※ 1)	携帯電話を所持しない生活をさせることが重要です。	毎日適切な時間、家庭学習をさせることが重要です。 (※ 3)	「みんな私を嫌っている」「誰も私を大切してくれない」という不安を軽減させることが重要です。
2位	お腹や頭が痛くならないようにさせることが重要です。	意欲的に学習させることが重要です。 (※ 2)	携帯電話を所持しない生活をさせることが重要です。	毎日適切な時間、家庭学習をさせることが重要です。 (※ 4)
3位	すっきり目覚めさせていくことが重要です。	毎日の家庭学習を習慣づけさせることが重要です。	就きたい仕事や将来の夢があるように働きかけていくことが重要です。	ゲームの使用時間を短くさせることが重要です。
4位	就寝時刻を一定にさせることができます。	「みんな私を嫌っている」「誰も私を大切してくれない」という不安を軽減させることが重要です。	「自分には良いところがある」「やればできる」という自信をつけさせることが重要です。	就きたい仕事や将来の夢があるように働きかけていくことが重要です。
5位	授業を分かるようにさせていくことが重要です。	「自分には良いところがある」「やればできる」という自信をもたせることができます。	ゲームの使用時間を短くさせることができます。	意欲的に学習させることが重要です。

☆表中の※1～4の具体策を次に示します。

あとの5つの項目は何かしら？

これから大切なのはどんなことかしら？



重要項目を達成するための具体策

景体策を大切な順にまとめました。

☆例として、「学習に関する項目」について、一部を示します。

小学校 下学年用 では… (※1)

- 1 家庭学習をきちんとさせることが重要です。

そのため大切なのは、大人が

 - (1) 毎日の家庭学習を習慣づけさせること
 - (2) 家庭学習をするように指導すること
 - (3) 読書を多くさせること



中学校用 では… (※3)

- 1 毎日適切な時間、家庭学習をさせることが重要です。
そのため大切なのは、大人が

 - (1) 家庭学習を習慣づけさせ、適切な学習時間を提示
 - (2) 意欲的に学習させること
 - (3) テレビの視聴時間、ゲームの使用時間を短くさせること
 - (4) 読書を大切だと思わせていくこと



高校学校用 では… (※4)

- 2 毎日適切な時間、家庭学習をさせることが重要です。

そのため大切なのは、大人が

 - (1) 適切な学習時間を提示し、毎日学習させること
 - (2) 意欲的に学習させること
 - (3) 携帯電話、テレビやビデオ、ゲームの使用時間を短くさせること
 - (4) 学校の奉仕活動に参加するなど、主体的に学校と関わること
 - (5) 単に学習しなさいという一方的な指示を控えること
 - (6) 子どもの教育にとって家庭の影響は大きいと考えること



子どもの発達に応じて、働きかけ方を
変えていく必要があるのね！

その他の項目については、Webで公開している「栃木の子どもの生活状況調査 報告書」をご覧ください

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/cyosa/cyosakenkyu/seikatsu-h21/>

アクセス方法: 栃木県総合教育センターホームページ > 調査研究 > H21年度調査研究 > 栃木の子どもの生活状況調査(小・中・高)

☆子どもによって発達に違いがあります。この考察を参考に、その子に応じた働きかけをすることが大切です。

「栃木の子どもの生活状況調査 報告書」をご覧ください！

～「7つの提言」と「具体策」を、ご活用いただくために～

1 家庭学習

提言6 子どもの学習について食卓で話題にしましょう。

2 学習に積極的に取り組めない子どもは、「みんな私を嫌っている」「誰も私を大切にしてくれない」という不安を抱えている傾向にあることが分かりました(6-(5))。

子どもは、最も長い時間を授業で過ごし、学習で多くの評価をされ、好成績を収めることを期待されています。学習は子どもにとって生活の中心であり、学習に積極的に取り組めないことは、その子にとって、大人が考える以上に深刻な問題です。

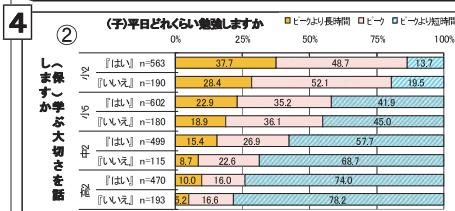
本調査の保護者の回答によれば、学習に積極的に取り組ませるために大切なことは、第一に、子どもに学習することの意味を話すことです。学ぶことの大切さを話す保護者の子どもほど、「長い時間学習する」と回答する傾向があります(6-(1))。

第二に、学校でのできごとを話題にすることです(6-(2))。「学校の手伝いに参加する」と回答した保護者の子どもほど、「意欲的に学習する」と回答する傾向があります。

第三に、子どもの学習に具体的な支援をすることです(6-(3))。テストの間違いをやり直せる保護者の子どもほど、「授業が分かる」と回答する傾向があります。しかし、「勉強しない」という一方的な指示は、効果が上がらないばかりか、逆効果になる場合があります(6-(3))。

子どもに学ぶことの意味を話したり、子どもと学校でのできごとを話したり、学習に具体的な支援をしたり、読書を勧め(6-(4))たりするためには、大人と子どもとの和やかなコミュニケーションが必要です。子どもの学習について、家族が食卓で話題にできるような雰囲気づくりを心がけましょう。

3 6-(1) 大人が、学習することの意味を子どもに話す家庭では、子どもが、学習に積極的に取り組む傾向があります。



5 相関の検定結果

	小2	小5	中2	高2
(1)	○	○	×	○
(2)	○	○	○	○

有意水準：P<0.05
○：有意
×：非有意

6 ①「今の勉強は将来大切になることを話す」と回答した保護者の子どもほど、「長い時間学習する」と回答する傾向があります。
②「学ぶことの大切さを話す」と回答した保護者の子どもほど、「長い時間学習する」と回答する傾向があります。

子どもの生活を向上させるための具体策 小学校 上学年用

自尊感情、家庭学習、自律的な生活、不安の軽減が指導のポイントです。
この具体策は、小学校第5学年の行動や意識に影響を与えていたり、大人の働きかけとして整理したもので、対象学年全体として重要なことを順に示しました。働きかける子どもにとって何が必要かを考えた上で、指導の参考にしてください。

1 携帯電話を所持しない生活をさせることは重要です。
そのため大切なのは、大人が
(1) 携帯電話を所持させないこと
(2) 早く寝させること

2 意欲的に学習させることは重要です。
そのため大切なのは、大人が
(1) 授業を分かるようにさせていくこと
(2) 時間を上手に使う工夫をせること
(3) 良いところがあるという自信をつけさせること
(4) 授業を話題にすること
(5) 単に学習しなさいといふ一方的な指示を控えること
(6) 今の中学生が将来大切になることを子どもに話すこと

3 毎日の家庭学習を習慣づけさせることは重要です。
そのため大切なのは、大人が
(1) 意欲的に学習させること
(2) 読書を多くすること
(3) 家の決まりを守らせること
(4) 適切な学習時間を提示し学習させること

・・・講師を派遣します・・・

本調査研究の内容についての講話や研修会等への講師の派遣については、研究調査部にご相談ください。

問合せ先：栃木県総合教育センター 研究調査部

TEL：028-665-7204 FAX：028-665-7303

電子メール：kenkyu-c@tochigi-edu.ed.jp

II 提言は…

左図中の1～6は、次のことを示しています。

1 因子 …因子分析¹⁾によって得られた相関のまとめ
→子どもの生活向上の大切な要因につけた名称です。

1) 報告書P30を参照

2 提言の説明 …提言と下位項目との関係の説明
→提言を導いた根拠が分かります。

⇒このまま講話等に利用できます。

3 提言の下位項目 …提言の根拠とした傾向のまとめ
→子どもの生活や意識に関する特徴が分かります。

4 グラフ …代表的なデータをクロス集計したグラフ
→学年ごとの傾向が分かります。

5 検定結果 …傾向が有意²⁾であるか検定した結果
→学年ごとの違いが分かります。 2) 報告書P10を参照

6 傾向 …複数学年で検定結果が有意となった傾向
→子どもの生活や意識の傾向が分かります。

親子関係だけでなく、教師と生徒の関係など、大人と子どもの関係すべてに当てはまります。（大学教授）



III 学年ごとの特徴と具体策は…

子どもの生活を向上させるための具体策

子どもの生活を向上させるための具体策を
小学校下学年用、小学校上學年用、中学生用、
高校生用 にまとめました。

重要項目 … 質問紙調査の結果を因子分析によって、生活に深く関わっている項目とその程度を調べ、重要な項目を大人の働きかけとして、10項目にまとめました。

重要項目を達成するための具体策 … 「重要項目」の原因とその程度を重回帰分析³⁾によって調べ、具体的な大人の働きかけ方としてまとめ、順に示しました。 3) 報告書P30を参照

・・・・・おすすめします！・・・・・
「子どもの生活を向上させるための具体策」は、学年ごとに見開き2ページにまとめてあるので、本リーフレットのP2・3とともに配布資料として活用できます。（栃木県教育研究発表大会参加 教諭）



第24回全国スポーツ・レクリエーション祭
スポーツ“ココロとちぎ”2011
とひこり 栃木でいい汗 いい会い
平成23年11月5日土～8日火